＝市議会に陳情＝
生活保護申請手続きに５時間

生健会は、市議会保健病院委員会に、生活保護の申請手続きが長すぎる。申請するまで５時間もかかったことについて、迅速な申請業務を求めました。

●大石市議（共産）：私は最近は闇の北九州市、要するに窓口で申請者を追い返すような水際作戦をやっていないのではないかと思っていました。ところが、この間、立て続けに次のような事例がありました。

3 月に生活保護の申請をするため小倉北区役所に行かれた方に、面接係長が「あんたなんね、連絡もなく生活保護の申請に急に来られたら困るよ。とにかく働きなさい」と言われ追い返されました。

27 才のシングルマザーの方で、DV になって 5 才の子どもさんがいる方が生活保護の申請に行と「あなたなんですか。27 才でしょう。若いから仕事をして下さい」と言うことで帰されている。鬱病で働けないから申請させて下さいと言ったら若いからダメですと言われた。若い人は生活保護が受けられないのか。

■保護課長：受け止め方ですね。働きなさいと、そういうふうに受け止めたのではないかと、それは、担当員の話し方にもよると思います。こういう件につきましては、また個別に福祉事務所の方に、こういう事案があったということは指導していきたいと思います。

●田中市議（共産）：保護の申請時間は平均 70 分というが、70 分で終わったことは 1 度もありません。

二つの問題がある。聞き過ぎ言い過ぎです。こと細かにどこで生まれたんですか。いつ結婚したのですか。とにかく聞き過ぎ。もう一つは言い過ぎ。こういう場合はだめですよとか。私は、本会議でも言いましたけれど、窓口で事前審査を事実上やってるんですよ。少なくとも、相談に来た人には、そう思われているんです。それで時間が長くなる。

国が作成した保護の実施要領の中には、「保護者の申請権を侵害しないことはもとより、申請権を侵害していると疑われるような行為も厳に慎むこと」と書いているんですよ。わかりますか。疑われているんですよ今、北九州市は、そういう認識ありますか。

私が北九州市の相談係長、相談窓口の対応について、一番強く思うのは、市民に対する思いやりが足らない。生活で困って来ているのに助けをという、そういう雰囲気が見えない人がいる。みんなとは言いません。そういう方が対応されているところに、大きな原因があると思います。市民が困って、窓口に来て相談しているのに、なんとか助けてやれないのかなという立場が欠落しているのではないか。

■保護課長：丁寧な説明と、バランスをとりながら、効率的に相談者の負担にならないように、努力していきたい。

●日野市議（自民）：生活保護をお願いする時は、大石先生、田中先生に頼んだら何とかできそうですね。保護が通りそうですね。私も今度（二人に）お願いに上がりましょう。

●田中市議（共産）：日野議員から名指しで本気か冗談か分りませんが。田中と大石が保護課の窓口に行けば、保護が通るだろうということを言われたので一言、言っておきたいと思います。保護課長にお尋ねしますが、同行者がいて、左右されることはないですよね。

■保護課長：生活保護法と国が定めた実施要領に基づいて行っておりますので、最終的に保護の決定はそういう第三者に関係なく実施機関で決めることになっております。

●田中委員：保護は今課長おっしゃったとおり、あくまでも法的に審査を行って決定すべきものであって、いわゆる忖度とか行政をゆがめるとか、いうことはないと思ってまして、私たちもそのような立場をとっておりません。決定がおりない人は降りない。（私たちは）保護が取れない人を無理やりにとらせるかのようなことは行っておりません。誤解がないようにしていただきたい。